

## 令和 7 年度 第 2 回 芦崎市認知症支援ネットワーク協議会会議録（要旨）

### 【会議の概要】

1 会議の名称	第 2 回 芦崎市認知症支援ネットワーク協議会		
2 日時	令和 7 年 11 月 20 日（木） 13 時 30 分～14 時 45 分		
3 場所	芦崎市役所 別館 201		
4 議題 (協議事項)	(1) 芦崎市認知症徘徊 SOS ネットワーク事業及び模擬訓練について (2) 認知症初期集中支援チーム活動実績について		
5 出席委員	浅川委員・山本委員・水川委員・土屋委員・田村委員・山本委員・常光委員・村松委員 【委員代理】 甲斐警察署生活安全課 望月氏 山梨ヤクルト販売（株）二口氏 以上 14 名		
6 公開区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開	<input type="checkbox"/> 一部公開	<input type="checkbox"/> 非公開
7 傍聴人の数	0 人		
8 事務局	【長寿介護課】 保坂課長・古屋・櫻本・鈴木 以上 4 名		

### 【協議内容等】

発言者	内 容（要旨）
事務局より議題(1)について説明	
議長	議案(1)について、実際に訓練に参加された皆さんから当日の振り返り等、一言感想をお願いしたい。
委員1	毎年行っているが、メールと FAX ではやはりメールの方が良い。メールで受信した内容をプリントアウトして回覧後必ず個人情報を破棄している。私以外がメールを使えないのが当事業所の今後の課題と考える。
委員2	事前の打ち合わせで、実際の搜索に沿った訓練ができるかと意見させていただいた。改善点がいくつかあったが、早期に発見できるようブラッシュアップした訓練ができれば良いと思う。日頃から認知症と思われる高齢者を週3日くらいは取り扱うが、その都度行政に相談している。今後も協力していきたい。
事務局	徘徊者役からの感想として、発見時に大勢の人が「大丈夫か」という顔で集まってきて、とても不安な気持ちと申し訳ない気持ちになったという感想があった。日頃、認知症サポーター養成講座でも一対一で対応する、ということを心に留めていたが、実際には大勢で関わってしまった事は反省点だと思う。
委員3	ニュースの中で少し映ったが、「おかえりマーク」はまだ SOS ネットワークがない時代に家族会が作成した。当時の弁護士や医師、県警の方の協力いただき、この形になった。「おかえりマーク」には名前や住所、電話番号を記入するので、個人情報等取り扱いには注意が必要だが、ぜひ使ってほしい。また、徘徊とは目的なくうろつくのではなく、本人には目的があって、歩いているうちに目的を忘れてしまう、と言われている。一見普通の方が多いが、少し話をしてみると取り繕う等、不自然な所や、矛盾した話をしている事に気が付くこともあるので、怪しいと思う場合は会話をしてみると良い。
委員4	先程事務局からもあったが、認知症と思われる高齢者の窓口の対応時、大人数で対応した際に本人がパニック状態になったことがあった。そのことから一人が対応して落ち着いた中で手続きをするようにしている。キャッシュカードや印鑑を紛失した高齢者が親族以外の知人を連れ

発言者	内容(要旨)
	て来ることが多く、そこの対応に苦慮している。
委員5	質問だが、このSOSネットワークに登録している方々の事は地区の民生委員は把握しているのか。
事務局	個別で登録している事をお伝えしてはいない。対象者によって、民生委員に繋がっていた方が良いと判断した場合や、民生委員から相談があった方については報告させていただいている。
委員5	行方不明者が出了場合、どこの地区かが分かればその近所の人の方が探しやすい。民生委員や地区長に頼むという事はないのか。
事務局	現在のところ地区長や民生委員に連絡をするという流れにはなっていないが、例えば話をしていく中で地区の協力を得た方が良いとなった時は、ご家族の方から地区長に話をさせていただき、後は地区の判断で、例えば消防を出す等色々な考え方があると思う。そこはご家族や親族と相談していただき、その判断にお任せしている。もし必要があればこちらからも民生委員や地区長の方に連絡をしていく検討をしてもいいのかと思うので、少しお時間をいただきたい。
委員2	地区の民生委員や地区長の方で解決できる範囲であれば良いが、認知症高齢者が健脚で地区におさまらない場合が多い。家族の方には必ず行方不明の届出を出していただき、公的なものを是非使っていただきたい。

#### 事務局より議題(2)について説明

議長	議案(2)について、何かご意見がありましたらお願ひしたい。
委員4	認知症高齢者への対応は深刻な問題で家族に問題がある場合が多い。家族に頼れず知人が来て、手続きができないと言うと騒ぎ、カスタマーハラスメントのような状況になる。トラブルになる前に市に相談するよう促し、対象者に寄り添えるよう官と民の連携が大事だと痛感している。
議長	以上で議事を閉じる。